

## 福祉に役立てて！ 社会福祉協議会へ寄付

5月17日（月）、日本和装学園大隅本校総合学園長の溝口千恵子さん（中郷集落）は、4月18日（日）あすばる大崎で開催された『第38回全日本きもの着付フェスティバル』の参加料の一部を社会福祉協議会へ寄付していただきました。

溝口さんは、「福祉に役立ててほしい」と話されました。

大会では、本町から南日本新聞社賞をはじめ、5名の方が入賞され、7月に行われる全国大会への出場も決まったそうです。

また、10月には、これまでの実績が認められ、同学園から10名が中国で行われる大会に参加されるそうで、日本文化を世界に広める活動がさらに飛躍されることを心から祈念いたします。



▲日本和装学園大隅本校総合学園長の溝口千恵子さん

## 農業を体験！ 初めての芋の苗植え

5月16日（日）、おおさき観光案内所では、芋の苗植え体験を行い、家族連れなど12人が参加し、軍手・長靴姿で、苗植えに挑戦しました。

曇りが予想されていましたが、天気もよくイベント日和となりました。

今回の体験は全部で2畝（1畝100㎡ほど）で、植え付けから収穫まで楽しんでもらおうとオーナー制とし、1家族25㎡を割り当てしました。

秋には更に4家族を募集し、芋掘り体験を実施する予定です。

体験に興味のある方は、おおさき観光案内所（☎477-2400）まで！



▲苗植えに挑戦する子ども連れで参加した家族

## ニッセイ財団より助成！ 大崎わんぱーく

5月24日（月）ニッセイ財団は、青少年の育成に取り組む県内の12団体へ活動品を贈呈しました。

財団は、毎年知事から推薦を受けた児童・青少年の健全育成に取り組んでいる地域の団体に対し必要な活動品を助成するもので、今回対象となった”大崎わんぱーく”には、実態顕微鏡、デジタル測定機、テントが贈呈されました。

代表古田由香さんは、「今回贈呈された活動品を有効利用し、子ども達と一緒に水質検査を行ない、生物の生態や環境について学んでいきたい」と話されました。



▲県庁で行われた贈呈式  
（後方左から2名 大崎わんぱーく）